



下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行 第24号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長代理 中村敬司
【連絡先】
下田南公民館
42-3612



下田南地区振興会
会長代理 中村敬司

【年頭のご挨拶】

新年あけましておめで
とございます。
地区民の皆様には輝か
しい新春をお迎えのこ
と、心からお慶び申し
上げます。また、下田南
地区振興会の運営にご理
解とご協力を賜りまし
て厚く御礼申し上げます。

謹賀新年



海から見た小田床海岸

昨年は東日本大震災が発生し現実のものとは思えない事態に自然災害の怖さを実感すると共に人と人との「絆」を改めて認識した年でもありました。

さて、南地区では地域の活性化を図るために、天草ふるさと家族便や天草ブルーガーデン事業などを行なっていますが、皆様のご協力と事業に携わる方のお陰により事業が継続しています事に大変ありがたく感謝申し上げます。堆肥の製造事業につきましても、無償で地域の環境美化に努められておりますことに敬意を表しますとともに、製造された堆肥が評判を呼び更に発展できればと願っています。

地域の人口減少が進む中で、当地区が「天草玉島移住・定住システム創造事業」のモデル地区に選ばれました。鬼海地区に根付きつつある「風来望」や、既存の「コミュニティビジネス」事業を起点に、自然の素晴らしさや私たちが気づいていない下田南の良さを発信し、新たな定住につながるれば素晴らしい事だと思います。

私たちの地域が色々な人達と交流しながら発展する事ができますように、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様方の益々のご健勝とご健康を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

成人おめでとございます！

平成24年成人式が、1月3日(火)、高浜公民館で開催されます。

今年は、町内44名、下田南では4名の方が大人の仲間入りをします。

ふるさとを誇りに思い、社会に貢献できる能力と人格を身に付けるよう努力するとともに、自らの力で輝かしい未来を切り開いてください。

成人おめでとございます！

・・・南地区の成人者は・・・

- 松本健史さん 濱崎沙織さん 松本綾香さん 白石裕樹さん



※白石裕樹さんと松本綾香さんの写真はありません。ご了承ください。



11月27日(日)、下田南公民館において下田南地区文化祭を開催しました。南小主催のもちつき大会から始まり、公民館駐車場では、輪投げ大会を実施。「つきたて餅」パック6箱が賞品となり、上位6名の方が見事な点数を見せ、貴重な賞品をもち取りました。メインとなる会場内では、農産物や加工品、一般作品創作衣服やペーパークラフト等が一堂に会し、展示場内は、さながら「下田南芸術館」となりました。

舞台上では、今回初の試みとなるプロジェクターを使用したスライドショー

第19回 下田南地区文化祭

技術の粋を集めた農産物や芸術品が勢揃い!

平成23年度 下田南地区文化祭 入賞者一覧表

特賞		氏名	作品名
金賞	農産物及び加工品	上野 幸子	リフォームスーツ
	一般作品	関 文孝	宇宙イモ漬物
銀賞	農産物及び加工品	佃 カホル	クラフト犬
	一般作品	桁山 由美	にんじん白菜
	農産物及び加工品	上野 美代子	白ブロッコリー
	一般作品	佃 富代香	ケープ
努力賞	農産物及び加工品	佃 妙子	生姜味噌漬
		行合 りつ子	生姜の黒糖煮
		白石 徳美	キャベツ
		佃 恵美子	生姜
	一般作品	鬼海 愛子	大根
		中村 トモ子	クリスマスオーナメント
		平畑 淑子	クッション
		西岡 禎子	

特賞



金賞



銀賞



を実施。昭和初期頃の地域の風景や人物、最近の振興会行事の様相などを説明を交えながら観覧いただきました。ロビーでは恒例となる喫茶「みなみ」を開店。また、お昼のバザーでは、女性運営員が早朝からテキパキと料理した美味しいカレーライスで舌鼓を打ちました。そして、ステージでは歌や踊りと盛りだくさんの内容となった、南小児童の発表会。会場は大賑わいで、大変楽しませてもらいました。

※敬称略

表彰式に移り、今年も審査が難しかったであろう、素晴らしい作品群の中から、上野幸子さん作成のリフォームスーツが特賞(最優秀賞)に選ばれ、栄えある賞を受賞されました。文化祭終盤では、白石善徳さんのテンポ良い掛け声で恒例のセリ売りを実施。丹精込めて作られた農産物、加工品があったという間に完売しました。

この文化祭が地域の交流の場として、また、日頃の技や伝統技術を披露できる貴重な場として、地域総出の文化祭となるようこれからも盛り上げていけたらと思います。地域の皆さん、スタッフの皆さん、大変お疲れ様でした!





年始のごあいさつ



南小PTA 会長
石松 徹

皆さま、明けましておめでとうございます。今年も健やかに新年を迎えることと願います。平素よりPTA活動にはご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。昨年も数々の行事がりましたが、地域の皆様のおかげで、PTAで出来る範囲以上の活動が出来ました。いよいよ閉校まで1年と少し、ほとんどの行事が最後になります。今年はずこもただけでなく地域の皆様にも喜んでいただけるような内容を考えながら、一つ一つが思い出深いものになるよう努力していきたいと思っています。また、閉校にむけての準備も本格的になっていく予定です。ので、地域の皆様には変わらぬご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

亀山サ苗さんからご挨拶

こんにちは、十朗窯の亀山です。今年夏いっぱいをかけて引越と築窯を終え、10月にオープンいたしました。そして、職人さんとコツコツ作り上げた登り窯は、最近やっと初窯に臨むことができました。薪を準備したりススキの穂を摘んで筆にしたり、ようやく焼き物屋さんらしくなってきたよねと二人で笑いながら作陶できている毎日です。レンガが少しずつ焼けて窯が育つように、私たちもここに根を張り頑張っていきたいと思っておりますので、地域の皆さまにはご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、よろしくお願いいたします。どうぞ散歩のついでに寄ってくださいね。



十朗窯のご紹介



居酒屋さんかと思間違ふかのような佇まいを見せるギャラリー。扉を開けたらそこには素敵な空間がありました！

11月27日に下田南地区産業文化祭と並行して、下田南小学校もちつき大会を開催しました。私は杵でもちをつく作業をしていたのですが、「も」と腰は入れれば元々、ありがたい指導をたくさんいただきました。翌日から全身筋肉痛に苛まれたことは内緒です。それはさておき、おかげさまで当日は児童も楽しく活動ができていたようです。それもすべて道具を貸していただいた佃忠久さんをはじめ、お手伝いをしていただいた皆さま、PTA会員の皆さま、たくさんのおもちやもち米を買ってくださった地域の皆さまのおかげです。この場をお借りし厚くお礼申し上げます。本誌にお世話になりました。

【下田南小学校職員】 松本隼人

もちつき大会 「地域のあたたかさを改めて実感」



↑ 力いっぱいお餅をつきました！
← 手作り看板を持ってピース！



まいどお馴染みとなりました、**小田床ナイトタウン情報**です！今年も、**立体的な装飾**に心掛けました。地域づくり部会の皆さんで土台づくりを行い、**イルミ**の配置は、我々がリーダー若松米雄さんを中心に部会員で構成しました。1月7日(おねっぽの準備後)には撤去となりますが、もう少しだけ見ることが出来ますので、きらびやかな**光の競演**を今しばらくお楽しみください！**以外と花壇もキレイですよ！**



これら3枚の写真は、入口武宣さんからお借りしたものです。上の写真は、昭和中期の小田床海岸。中の写真も松林が入った小田床海岸の風景です。下の写真は、旧下田南小学校とやぐらが映っています。皆さんわかりますか？下田南地区振興会では、昭和の写真を集めています。後世に残す貴重な写真をデジタルデータで残しておきましょう。お気に入りの写真があれば、どうぞ事務局 田口までご連絡ください。



小田床情報板

- 1月 ※赤字は振興会行事
- 3日(火) …天草町成人式
- 7日(土) …鬼火焼き準備
- 8日(日) …鬼火焼き
- 29日(日) …まちづくり講演会
- 2月
- 5日(日) …天草町駅伝大会
- 3月
- 11日(日) …ウォーキング大会

今号の1枚



↑文化祭のスライドショーで使用させていただいた、西嶋さん所有の昭和中期の港の風景写真。左には猫ぐるまを押す人も見受けられます。歴史を証明する貴重な写真ですね。

振興会からのお知らせ
 1月8日(日)今年度は日曜日におねっぽ(鬼火焼)開催です。今回も、ぜんざいを作り皆さんへ振る舞います！書き初めやお餅などもご持参ください。ぜんざいを食べながら家内安全、無病息災を祈願いたしましょう。たくさんの方のご来場をお待ちしております。みんなで「おねっぽっぽー」とおめきましよう！
 開始時間は、午前9時からです。(7日(土)午前8時からおねっぽっぽの準備を開始します。ご都合がつける方は、ご協力をお願いします。)

編集後記

◆四季の移ろいと共に、海もその時々美しさで私たちを魅了してくれている。一日として同じ海はなく、人の暮らしも変化が無さそうに見えていても、心の動きで楽しかったり寂しかったりと一日として同じ日はないのかも知れません。自然という大きなサイクルの中で人間も野の植物・動物のように自然体で生きていきたいものです。◆特に2011年は自然の強大な力を目の当たりにして考えさせられた年でした。「絆」という言葉をよく見かけましたが、絆は簡単には結べないが一度結ぶとなかなか断ち切れない強い結びつきではないかと、解釈しています。◆少子高齢化の進む今、下田南の地区の「絆」はこれからの益強く結ばれていくものと思います。人と共に生きる喜び、人に生かされていることに感謝。2012年、希望を前にそれぞれが自分らしく生きていきたいと思います。

【平畑憲二】